



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,345	3.6	729	28.4	762	30.0	495	30.8
2019年3月期第3四半期	12,878	2.3	568	24.4	586	24.2	378	26.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 500百万円 (32.8%) 2019年3月期第3四半期 377百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	144.78	
2019年3月期第3四半期	110.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	11,741	8,447	72.0	2,467.75
2019年3月期	10,677	7,981	74.7	2,331.49

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,447百万円 2019年3月期 7,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,401	2.0	824	1.1	845	4.0	552	5.6	161.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	4,216,000 株	2019年3月期	4,216,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	792,698 株	2019年3月期	792,698 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	3,423,302 株	2019年3月期3Q	3,436,442 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、良好な企業成績や雇用環境の改善を背景に、緩やかに回復し、個人消費は持ち直しております。

一方で、米中貿易摩擦の長期化や欧州の不確実な政治情勢などの影響による海外経済の落ち込み、消費税率の引き上げによる消費者の節約志向の高まりにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、観光は来道者数が増加し、個人消費は持ち直しており、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、2019年10月の診療報酬・薬価改定の実施など、医療費抑制政策は継続されており、また、厚生労働省発表の「患者のための薬局ビジョン」への対応が求められるなど、より一層の経営努力が求められる事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得や新規調剤薬局店舗の開局、品質とサービスの向上等による営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,345百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益729百万円（同28.4%増）、経常利益762百万円（同30.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益495百万円（同30.8%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、既存・新規顧客との取引が順調に推移したこと、原価圧縮に加え設備投資を一部繰延べたことから、売上高4,479百万円（同1.7%増）、セグメント利益327百万円（同26.2%増）と増収増益になりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的なかかりつけ薬剤師・薬局への体制強化等に向けた取組みに加え、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したことから、売上高8,245百万円（同5.7%増）、セグメント利益704百万円（同34.5%増）と増収増益になりました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が順調に推移しましたが、備品の販売が前年同期を下回ったことから、売上高560百万円（同5.1%減）となり、且つ人材、設備への投資を行ったことから、セグメント損失13百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高59百万円（前年同期比29.4%減）、セグメント利益35百万円（同46.5%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,568百万円減少（前連結会計年度末比20.2%減）いたしました。これは主に商品が127百万円、受取手形及び売掛金が53百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が1,795百万円減少したことによるものであります。

固定資産は5,547百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,632百万円増加（同90.3%増）いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が33百万円、長期前払費用が21百万円それぞれ減少しましたが、土地が2,600百万円、工具、器具及び備品（純額）が43百万円、リース資産（純額）が43百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は11,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,063百万円増加（同10.0%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ559百万円増加（同23.0%増）いたしました。これは主に賞与引当金が86百万円、未払法人税等が23百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が571百万円増加したことによるものであります。

固定負債は302百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加（同14.2%増）いたしました。これは主に長期未払金が7百万円減少しましたが、リース債務が40百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ597百万円増加（同22.2%増）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円増加(同5.8%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益495百万円及び剰余金の配当34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.0%となり、前連結会計年度末比2.7ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,467円75銭となり、前連結会計年度末比136円26銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、下期の業績動向を精査中であることから、2019年5月13日に公表しました数値を据え置いております。

今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,477,997	2,682,686
受取手形及び売掛金	2,652,462	2,706,102
商品及び製品	525,110	652,970
仕掛品	8,128	7,707
原材料及び貯蔵品	53,651	72,823
その他	76,917	98,660
貸倒引当金	△32,121	△27,691
流動資産合計	7,762,145	6,193,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,192,998	2,198,982
減価償却累計額	△1,327,919	△1,367,466
建物及び構築物(純額)	865,079	831,516
機械装置及び運搬具	39,412	41,984
減価償却累計額	△32,077	△33,291
機械装置及び運搬具(純額)	7,334	8,692
工具、器具及び備品	2,632,371	2,675,831
減価償却累計額	△2,346,918	△2,346,581
工具、器具及び備品(純額)	285,453	329,250
土地	916,894	3,517,466
リース資産	65,093	113,464
減価償却累計額	△30,949	△35,536
リース資産(純額)	34,144	77,927
建設仮勘定	—	23,131
有形固定資産合計	2,108,906	4,787,985
無形固定資産		
その他	53,566	43,702
無形固定資産合計	53,566	43,702
投資その他の資産		
投資有価証券	164,513	152,888
長期貸付金	353	260
長期前払費用	30,071	8,136
差入保証金	257,326	250,671
繰延税金資産	169,467	165,658
その他	148,279	160,366
貸倒引当金	△17,091	△21,676
投資その他の資産合計	752,921	716,305
固定資産合計	2,915,394	5,547,993
資産合計	10,677,540	11,741,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,864,733	2,435,882
リース債務	10,604	18,733
未払法人税等	145,825	122,040
賞与引当金	116,545	30,146
未払金	96,849	88,816
その他	196,404	294,858
流動負債合計	2,430,963	2,990,476
固定負債		
リース債務	28,112	69,018
役員退職慰労引当金	75,870	78,231
退職給付に係る負債	20,831	22,565
長期末払金	133,716	126,451
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,668	4,652
固定負債合計	265,199	302,919
負債合計	2,696,162	3,293,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,595,116	7,056,500
自己株式	△633,162	△633,162
株主資本合計	7,960,574	8,421,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,802	25,898
その他の包括利益累計額合計	20,802	25,898
純資産合計	7,981,377	8,447,857
負債純資産合計	10,677,540	11,741,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,878,280	13,345,267
売上原価	8,975,934	9,152,842
売上総利益	3,902,346	4,192,425
販売費及び一般管理費	3,333,982	3,462,481
営業利益	568,363	729,943
営業外収益		
受取利息	401	302
受取配当金	4,890	5,541
受取賃貸料	37,446	37,031
その他	19,907	30,897
営業外収益合計	62,645	73,773
営業外費用		
支払利息	1,184	1,526
賃貸収入原価	34,970	36,540
その他	7,973	2,854
営業外費用合計	44,129	40,921
経常利益	586,880	762,796
特別利益		
固定資産売却益	460	90
特別利益合計	460	90
特別損失		
固定資産売却損	1,799	—
固定資産除却損	749	41
会員権評価損	50	—
減損損失	11,158	—
投資有価証券評価損	—	17,532
特別損失合計	13,757	17,574
税金等調整前四半期純利益	573,582	745,313
法人税等	194,743	249,696
四半期純利益	378,839	495,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	378,839	495,616

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	378,839	495,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,808	5,095
その他の包括利益合計	△1,808	5,095
四半期包括利益	377,030	500,712
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	377,030	500,712
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,403,079	7,799,981	591,086	12,794,146	84,133	12,878,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	476,145	476,145	607	476,753
計	4,403,079	7,799,981	1,067,231	13,270,292	84,741	13,355,033
セグメント利益	259,309	523,963	2,363	785,636	66,377	852,014

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,636
「その他」の区分の利益	66,377
セグメント間取引消去	8,786
全社費用(注)	△292,436
四半期連結損益計算書の営業利益	568,363

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,479,598	8,245,461	560,803	13,285,863	59,403	13,345,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	543,401	543,401	470	543,872
計	4,479,598	8,245,461	1,104,205	13,829,265	59,874	13,889,139
セグメント利益又は損失 (△)	327,254	704,879	△13,638	1,018,495	35,536	1,054,032

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,018,495
「その他」の区分の利益	35,536
セグメント間取引消去	7,706
全社費用(注)	△331,794
四半期連結損益計算書の営業利益	729,943

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。